

令和2年2月7日

八雲小学校及び下島小学校児童の保護者の皆様へ

八雲地域・下島地域の皆様へ

守口市立八雲中学校

校長 寺本 毅

今後の八雲中学校の部活動のあり方（部活動数の縮小）について

立春の候 保護者・地域の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃は、八雲中学校区の教育活動推進のため、多大なるご協力を賜り誠に有り難うございます。

八雲小学校・下島小学校の卒業後の就学先となる八雲中学校では、現在、生徒数の減少と学校における働き方改革の流れを踏まえ、部活動数の縮小を検討しており、この度はそのことについてお知らせいたします。

近年、市や府・国の動向と同じく本校も生徒数・学級数が減少しており、現状では、次年度の1年生は2クラス編成、生徒総数は265名と今年度よりも約30名近くの減少、それに伴い教職員数は2名減少の予定となっております。両小学校の在籍児童数を考慮すればこうした傾向は数年続くものと予想され、次年度においても、部活動の運営においては、単独でのチーム編成が困難となったり、顧問が確保できなくなったりする状況が見込まれています。

一方、新学習指導要領の完全実施をおよそ1年後に控え、少子高齢化や人口減少、グローバル化、加速する技術革新等による予測が困難な時代を生きる子どもたちに、「さまざまな変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことや、様々な情報を見極め知識の概念的な理解を実現し情報を再構成するなどして新たな価値につなげていくこと、複雑な状況変化の中で目的を再構築することができるようになること(学習指導要領総則解説より)」が求められています。もちろんこうした力を子どもたちに育てていくことは学校だけの取組みでは実現しがたく、学校・家庭・地域の連携によりその実現を目指すものです。とはいえ、その力を育む主要な部分は学校が担うべきもので、教員一人ひとりには、今後も授業改善をはじめとする指導技術の向上が必要であり、それが子どもたちの生きる力の向上

と深く結びつくものであると考えます。

こうした現状のもと、子どもたちの生きる力を育むという学校が担うべきこと、学校がしなければならないことの質の向上を図るため、教職員の業務・指導及び研さん等にかかる時間を確保するという「学校の働き方改革」を進めています。

加えて守口市では、生徒・教員数の減少も視野に入れ、平成 29 年度より、部活動を理由とする中学校進学時の指定校変更が認められるようになっていきます。

したがって、本校もこうした状況を打開するため、部活動数の縮小に向けた部（クラブ）の活動停止に向けた指針を定めることといたしました。もとより、現在所属し活動している部員には可能な限り配慮する形で活動を停止することを原則とします。なお、具体的な縮小に向けた検討は次年度当初に進めることとしており、検討結果についても後日お知らせいたします。どうぞご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

部活動数の縮小にかかる部（クラブ）の活動停止に向けた指針

令和 2 年 4 月 1 日より運用

守口市立八雲中学校では、部員数の減少により活動レベルに課題がある部、教員数の減少及び教員の異動等により顧問の確保に課題がある部については、下記の手続きを踏まえ、活動を停止します。また、活動停止を進めるうえで、部の数の適切な上限については、短時間・非常勤勤務を除く教員が複数で顧問に就ける数を目安とします。

- ① 顧問を務める教員が異動する場合、本校勤務の最終年度内に活動停止できるよう、前年度より部員の募集を停止します。
- ② 単年度勤務が原則である講師が顧問を務めざるを得ない部は、新入部員の募集停止を検討します。
- ③ 活動停止の手続きに入った部については、生徒の混乱を避ける意味でも、停止の方針変更はしないものとします。
- ④ 新入部員が複数年度見られない部については、部員の卒業を待って活動を停止します。
- ⑤ 新たに部の創設を検討する場合は、部の総数が、短時間・非常勤勤務を除く教員が複数で顧問に就ける数を超えない場合のみに限定します。

